

はらんべえ・れお 第36号

新規奨学生ご紹介

2022年度より新規奨学生として支援することとなった3名をご紹介します。



写真左：レアさん父 写真右：レアさん

Leah Wambui Chege（レア）さん

出身地：Munyu, Naivasha Sub-county, Nakuru County

学 校：Mai Mahiu Girl's Secondary School

学 年：Form1（1年生）

将来の夢：医者

レアさんはナクル・カウンティのナイヴァシャにあるムニュという村で、父、祖母、兄と暮らしています。お父さんが小作農の仕事をしており現金収入が少なく、兄の他に2人の姉がいて全員の学費を捻出できないことから、支援に至りました。

数学などの理系科目が得意で、サッカーが好きなレアさん。学校生活は忙しいようですが、段々と慣れ、新しい友達もできて、学校生活を楽しんでいると教えてくれました。

レアさんの将来の夢は医者になることです。貧困のために医療支援を受けることができない高齢者や貧しい人々、病気の人々を支援するために、村に診療所を開設したいと語ってくれました。また、貧しい学生たちが夢を実現できるよう支援をしたいとも話してくれました。



写真左：ウィリスさん 写真右：奨学生担当者 大谷隊員

Wilis Onyango Ariyo (ウィリス) さん

出身地：Mbita, Homa-Bay County

学 校：Mbita High School

学 年：Form1 (1年生)

将来の夢：外科医

ウィリスさんはホマベイ・カウンティのビタで、父親と5人の兄弟と一緒に暮らしています。ウィリスさんはKCPE（ケニア統一初等教育修了試験）で500点満点中392点と非常に高いスコアを取得していましたが、父親の農業の収入だけでは生活することで精一杯で、学費の工面ができずに進学が危ぶまれていたため、今年の5月からKESTESの奨学生になりました。

兄弟が多く、勉強に集中できるスペースが家にはないため、家ではいつも外で勉強し、休みの間も学校にいるときのようにタイムスケジュールを作って熱心に勉学に励んでいます。学校生活にも慣れ、休み時間には友人と大好きなサッカーをして楽しんでいるそうです。

将来の夢は外科医になること、そして学費が払えず学校に通えない学生を支援する慈善家になることだと教えてくれました。

奨学生担当者が訪問した際には、椅子を準備してくれたり、同行した現地スタッフの落としたペンに気づいて拾ったり、紹介してくれた畑で足下を気遣ってくれたり、とても心優しい青年です。



写真左：マーシーさん母 写真中央：マーシーさん 写真右：奨学生担当者 荒川隊員

Mercy Wanjiku Theuri (マーシー) さん

出身地：Nyeri, Nyeri County

学 校：Kiria-ini Girls Secondary School

学 年：Form1 (1年生)

将来の夢：医学博士

マーシーさんはニエリ・カウンティで両親、妹、弟と一緒に暮らしています。彼女は学業への意欲も高く、プライマリースクール（小学校）でも優秀な成績を収めていましたが、コロナの影響を受けてお父さんがマタツドライバーの仕事を失い、学費を捻出できなくなってしまったため、今年の5月からKESTESの奨学生になりました。マーシーさんが学校に通えていることで、お父さんのメンタルの不調も改善しているようです。

初めての寮での生活は、朝3時半に起きてお湯をもらうために並んだり、夜9時まで予習をしたりと大変なようです。得意不得意科目に差があることと、プライマリースクール（小学校）では経験しなかった科目や、やり方に慣れることに苦労しているようでした。

マーシーさんの将来の夢は医学博士になることです。病気で苦しむ人たちを助けたい、診療所を建てて医療を受けやすくしたいと勉学に励んでいます。

奨学生なう

KESTESでは毎Term（学期）ごとに奨学生担当者が奨学生の自宅を訪問し、振り返りや来期の目標設定などを一緒に行っています。2022年8月現在、7名の奨学生を支援しています。2022年度Term1を終えた奨学生から届いたコメントをご紹介します。



Joshua Okoth Ouma（ジョシュア）さん

Form4（4年生）、2019年1月より支援

成績 前回 C+ → 今回 B-

1年生から支援していただいていることに感謝しています。これからもよろしくお願ひします。次の2学期は将来を決める最も重要な中間地点なので、より一層努力しなければなりません。良い結果を出すこと以外に感謝の気持ちを伝える方法はありません。医師になるという目標に向かって努力を続けます。

Otieno Michael Oloo（マイケル）さん

Form4（4年生）、2019年5月より支援

成績 前回 B → 今回 B

入学当初から現在に至るまで、サポートしてくださったことを感謝しています。私は今、ナイロビ大学医学部へ進学することを目標にがんばっています。私は、皆さんのおかげで、学業で自分の能力を発揮することができていて幸せです。教育は私を新しい場所へと導いてくれましたし、この先もそうでしょう。皆さんが健康でありますように。そして、学問優秀ながら経済的に恵まれない学生たちを助け続けることができるよう、神の慈悲が降り注ぎますように。どうもありがとうございます。





Ann Njeri Wambui (アン) さん

Form4 (4年生)、2020年1月より支援
成績 前回 C → 今回 C-

この場を借りて、学費を払い、勉強のために文房具を買ってくれたKESTESのサポーターに感謝します。大学に入学し、夢のキャリアを追求するために、学校で一生懸命勉強し、良い成績を残したいという前向きな気持ちを与えてくれました。私のような恵まれない学生を助け、学費の支払いを手伝ってくれたことに感謝します。

Darline Joyce Ooko (ジョイス) さん

Form4 (4年生)、2020年1月より支援
成績 前回 C → 今回 C

引き続き支援してくださりありがとうございます。勉強をするために必要なものを全て与えてくださり私は幸せです。私もKESTESのように社会に恩返しをしたいです。ですがこのところ自分のベストを尽くせず、申し訳なく思っています。自分の弱点を克服し、よい成績をとります。将来は会計士になりたいです。これからもよろしくお願いします。本当にありがとうございます。





Leah Wambui Chege (レア) さん

Form1 (1年生)、2022年5月より支援
成績 今回 B+

私を奨学生に選んでくださり、学費や学校生活に必要な日用品の支援をしていただきありがとうございます。皆さんの支援に感謝しています。

Wilis Onyango Ariyo (ウィリス) さん

Form1 (1年生)、2022年5月より支援
成績 今回 A-

私の学費や生活物品など経済的な支援をしてくださっているKESTESの皆さんに感謝を伝えたいです。私には外科医になるという夢があります。その夢を叶えるために、これからも一生懸命勉強し、努力を続けます。KESTESは私だけでなく、他の生徒も助けてくださっていることにも感謝をしています。



Mercy Wanjiku Theuri (マーシー) さん

Form1 (1年生)、2022年5月より支援
成績 今回 C

私のセカンダリースクール（高校）進学に対する支援を認めてくださったKESTESの皆さんに感謝を伝えたいです。この支援なしに私は進学できませんでした。私は夢を叶えるために次の学期ではB+以上の成績を取りたいと思っています。私の夢は医学博士になって人々を助けることです。いろいろな病気の治療法、特にHIV、AIDSの治療法を発見することで人々の役に立ちたいです。



新会長・副会長ごあいさつ



新会長

2019年度3次隊 加賀瀬 悠

職種：環境教育

任地：ティカ

(キアンブ・カウンティ)



新副会長

2022年度9次隊 實近 千尋

職種：コミュニティ開発

任地：ウォテ

(マクエニ・カウンティ)

皆さんこんにちは！今年度からKESTESの会長を務めている加賀瀬です。

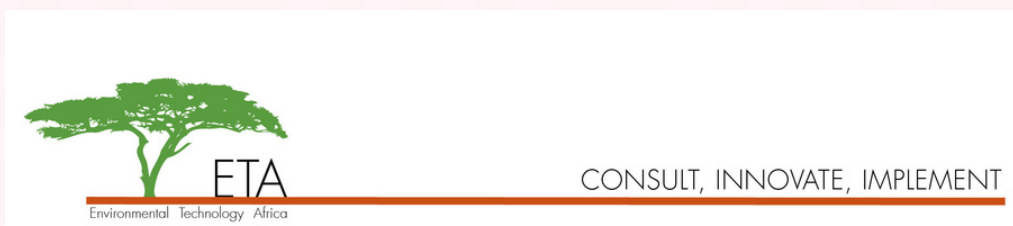
前会長の村岡智子さんから会長を引き継いで約3か月。当初は少人数で手探りでの活動でしたが、徐々に賛同してくれる隊員が増え、今では10名以上の体制で活動することができています。協力隊の精神を見るようで、大変頼もしく思っています。今後は、久々に日本人会のふれあい祭りに参加するなど、コロナ以前のような活動を再開していきます。

また、残りの任期があと7か月ということで、再開し始めたKESTESの活動を、次の隊員にしっかり引き継いでいくことも大切な仕事だと考えています。引き続きのご支援をよろしくお願いします！

みなさんはじめまして、今年度からKESTESの副会長を務めている實近です。

私は元々2019年の12月に派遣されましたが、コロナの影響により赴任3か月で帰国をしました。2020年の3月に全隊員がケニアから引き上げることになり、再赴任の見通しも立たない中でKESTESは今後どうなっていくのだろうと不安を感じました。しかし、2年ぶりに再赴任をした現在のケニアは、KESTES正会員の数も増え、徐々に活動も再開しています。今年はコロナによるタイトなスケジュールの授業や、大統領選挙の影響による一時休校もあり子供たちを取り囲む環境は厳しいですが、そんな中でも子供たちは自分の目標に向かってがんばって勉強を続けています。我々もケニアから子供たちをサポートしていきますので、今後とも変わらぬご支援をよろしくお願いします！

KESTESは以下の企業サポーター様よりご支援をいただいています。
いつもご支援ありがとうございます！



Environmental Technology Africa (ETA) 様
<http://eta.co.ke/>



Magnolia Mining 様
<http://magnolia-mining.com>

◆-----◆
KESTES正会員 13名（2022年8月現在）

2019年度3次隊	2021年度1次隊	2021年度5次隊	2022年度7次隊
加賀瀬 悠	荒川 未央	伊治 由貴	佐野 悠
原田 真梨子	木村 愛花		
	木村 勇太	2021年度7次隊	2022年度9次隊
	申 玄祉	岩森 由希子	實近 千尋
	広瀬 水流	大谷 和	
	元川 未来		

◆-----◆
KENYA STUDENTS' EDUCATIONAL SCHOLARSHIP (KESTES)



<http://www.kestes.org/>



<https://www.facebook.com/jocvkestes>



kesteskenya@gmail.com

